

令和6年度 信頼される学校であるための行動計画

四日市中央工業高等学校

1. 「風通しの良い働きやすい職場環境づくり」

- ・ 職員が日常、感じている事（仕事内容や悩んだり、困ったりしていることなど）を気軽に言いあえる雰囲気を作り、互いに支えあえる環境をつくります。

2. 「相談しやすい環境づくり」

- ・ 校長室をオープンにし、職員が気軽に管理職と話ができる環境をつくります。
- ・ 管理職は、過重労働報告におけるストレスチェック等を活用し、職員と面談をする機会を多く持ち、ストレスとなる要因を丁寧に聞き取り、改善策について話し合います。

3. 「不祥事根絶のために行うこと」

（1）職員と生徒との適度な距離感を保ち、信頼される適切な関係を築きます。

- ・ 生徒との面談や個別指導を行う際、他の職員の目の届かない部屋で行う場合は必ず複数の教員で対応します。どうしても個別対応が必要な場合は事前に管理職の承認を得るとともに、終了後直ちに内容を報告することとします。
- ・ 生徒との業務に関係のない私的な SNS でのやり取りを禁止します。
- ・ 生徒の輸送のために自家用車等を使用する場合は、短距離であっても事前に校長の承認を得ることとします。
- ・ 生徒への指導状況等を振り返るアンケートを年3回行い、管理職との面談において内容を確認します。

（2）職員会議、学科会、教科会、分掌会議等で定期的な話し合いを行います。

- ・ 様々な会議の機会を捉えてコンプライアンス研修を実施し、全職員が年間3回以上参加します。
- ・ コンプライアンスチェックを年間2回実施し、自身の行動を振り返ることにより、不祥事根絶の意識を向上させます。
- ・ 管理職から職員へ定期的に、随時に、コンプライアンスに関するメッセージを発信します。
- ・ 職員個々が経験したヒヤリハットの事例を随時共有し、注意喚起とコンプライアンス意識向上の機会とします。